

## 参考資料

### 第5回

「(仮称) 生物多様性藤沢戦略策定検討委員会」後  
の修正について

修正区分：●第5回検討委員会委員長預かり、□委員・議員等意見、※パブリックコメント、  
◇事務局（庁内調整会議の意見等含む）による構成や文章の修正等

ページ数		修正区分	ご意見 (修正点)	対応
戦略 (案)	戦略 (素案)			
表紙		●	・サブタイトルの最後の「計画」は、削ったほうが良いのではないか？ ・「生きもの」を「生きものの恵み」としてはいかがか？	指摘のとおり修正しました。
		◇	戦略策定にあたって、を加筆しました。	
目次		◇	第1章を「はじめに」と「藤沢市におけるこれまでの生物多様性保全の取組み」に区分し、5章から6章構成へ変更しました。	
1		◇	イメージ図挿入の部分に体系図を追加しました。	
4	3	◇	藤沢メダカの記述を追加しました。	
6	5	◇	文章を修正しました。	
7	6	●	サプライチェーンの用語がわかりにくい。	文章や図を修正しました。
8	7	◇	産業経済活動の取組み実態について、データを追加しました。	
9～	10	◇	構成を修正しました。	
11	9～	◇	産業経済活動における動きをまとめ、強調する構成に修正しました。	
12		□	上記修正のなかで第5回たたき台から、文章の修正及びグラフを追加しています。	
14	12	◇	表の内容を修正しました。	
16	14	◇	タイトルを、文章に併せ、生物多様性地域戦略の策定状況に修正しました。	
17	15	◇	本頁から第2章とし章立てを修正しました。	
22	21	●	まちづくり計画とすることの説明をもう少し掘り下げる必要がある。	ハード・ソフトをふくめた一般（常識）的な「まちづくり」として本用語を使用しました。どういうまちづくりなのかということは戦略策定のねらいや次頁の考え方で説明できてい

				ると考えます。
25	24	◇	図の修正 ・ 市政運営の総合指針は整合・連携を図る。 ・ 広域計画等と藤沢市の関わり（→）を修正。	庁内調整会議意見
29	27	◇	写真追加	
30	28・29	◇	・ 素案 28・29 を案では 30 にまとめた。 ・ 凡例追加	
32	31	◇	写真追加	
33	32	◇	写真追加	
34	33	◇	図の変更	
35	34	◇	・ タイトルの変更及び文章の修正 ・ 図の追加	
	35	◇	削除	
38		◇	・ タイトルの変更及び文章の修正 ・ 図の追加	
39		◇	藤沢市の商工業と生態系サービスの関わりを示す表を追加し、認証制度の記載は削除しました。	
40～46		◇	文章を修正しました。	
42		□	供給サービスの観点から、藤沢市の農業の概要を追記しました。	
47		◇	施策の根拠となるようタイトルを「子どもたちと地域の自然」へ修正しました。	
48～		◇	文章を修正しました。	
63	61	●	将来像について、生物多様性の定義で解説されている文言を活かし「生きもののつながりと個性を感じるまち藤沢」はいかがか？	つながりと個性もわかりにくいため「恵み」としました。
			説明文案が分かりにくい。	修正しました。
64	62	●	方針①～④と囲み内の戦略の方針の文言が相違しわかりにくい。	修正しました。
71～ 72	69～ 70	●	マルチパートナーシップを市の指針で使用しているところと一般的に使用しているところとの区別をすること。	修正しました。
		●	重点プログラムの位置づけを体系の中で示してほしい。	施策⑦に位置づけ（修正）しました。
76	74	●	施策名は「生態系サービスを活かしたまちづくり」が良いのではないか？	生態系サービスを活かしたまちづくりとなると、例

				<p>例えば、森林などの貯水機能を活かした下水整備なども含まれます。藤沢市レベルでは都市基盤整備に活かせるような大規模な生態系は存在せず、グレイインフラを補完するものと捉えていますので生物多様性に配慮した都市づくりとしました。</p>
76	74	●	<p>取組み内容は公園緑地での取組みも様々ある。今まで実施してきたことも含め追記してほしい。</p>	<p>修正しました。 詳細が参照できるように所管する計画を記載しました。</p>
76	74	※	<p>国道交通省の研究成果では、植生砂丘帯を自然インフラとして意義付け、調整サービスとして、防災、減災効果の有効性が指摘されていることから、例えば、様々な立場を考慮した浜辺の利用のルール作り『湘南海岸カントリーコード』のような合意形成は生態系を保全するうえで必要でないかと考えます。砂浜海浜植物群落の生物多様性と生態系にとって効果的な「戦略」が策定されることを切に願っています。</p>	<p>左記パブリックコメントを受け、施策④「生物多様性に配慮したインフラ整備の推進」の施策を取り巻く現状と課題に「保安林や海浜植生等はグリーンインフラとしての機能を有しています。」を加筆しました。</p>
80	78	●	<p>施策 ライフスタイルの改善 趣旨の説明文が分かりにくい。</p>	<p>修正しました。</p>
81	79	●	<p>施策 農業・水産業 都市農業振興基本計画や地産地消推進計画の中で生物多様性に関する施策例を記載してほしい。</p>	<p>修正しました。</p>
		◇	<p>施策タイトル 醸成は機運を作り出すの意味であり、取組みの醸成という言い方はしないのではないか</p>	<p>取組みの共有に修正しました。</p>
82	79	●	<p>施策 商工業 趣旨の文末、「事業活動を推進します」は企業に強制感を与えない表現にしてほしい。</p>	<p>修正しました。</p>
84	82	●	<p>施策 子どもたちを中心とした生物多様性を学ぶ場の充実 趣旨の文末、「創出します」よりもまずは「知っていく」ことが先決ではないか。</p>	<p>施策としては、学ぶ場と機会の創出であり、学ぶ場を創出すること＝知ることとしています。</p>

			取組み内容には生涯学習課（図書館など）との連携も入れておくことが大切。	実行プランにおいて、関連する主体の役割分担を定めたいと考えています。
86	84	●	連携体制の図について 楕円ではなく正円にし、どこが主役とは見えない見せ方にすべきではないか 市民が円の中心にあるべきではないか	円の形に関わらず、あらゆる主体で推進していくことを表したものです。 市民も同じ円上とした上で、各主体一丸で推進することを表しています。
86	84	●	センターは経営が難しいと思う。設立準備会を設置する等の記述をついかしたらどうか？	次年度はセンター機能構築に係る研究を行い、実行プランのなかで体制、スケジュールなどを検討したいと考えています。
86	84	□	連携体制の図 第一次産業（農水産業）と生物多様性保全は密接なつながりがあり、従事者の知識や情報を反映する必要があるが、図ではそれが表現できていない。	農水産業従事者を追加しました。 (事業者を削除)
資料編		◇	法律等の記載を追加しました。	